

❁□■□■□❁□■□■□■□❁□■□■□■□❁□■□■□■□❁
メールニュース10月号 理研バイオリソースセンター実験植物開発室
❁□■□■□❁□■□■□■□❁□■□■□■□❁□■□■□■□❁

2015. 10. 23

このメールは、最近リソースの請求をされた方、技術研修に参加された方、及び展示会等にて実験植物開発室からのメールニュースを希望された方を対象に送信しています。配信不要の方はお手数ですが、plant@brc.riken.jp までご連絡ください。

-----● 第4回Brachypodiumワークショップについて ●-----

第4回 Brachypodium (ミナトカモジグサ) ワークショップ (11月9日(月)、理研筑波キャンパス) の参加受け付けを行っています。当日参加も可能ですが、午前中に予定している施設見学をご希望の方は、10月末日までにご登録ください。皆様のご参加をお待ちしております。

<http://epd.brc.riken.jp/ja/archives/3465>

-----● 植物培養細胞株の新規公開のお知らせ ●-----

11月より以下の植物培養細胞3株を公開する予定です。ご興味のある方はメールにてお尋ねください。

rpc00053 (サクラCo460)、rpc00054 (オウレンCj)、rpc00055 (シロイヌナズナgnom)

-----● 出展のお知らせ ●-----

以下のイベントにて、当室の植物リソース事業について紹介します。ご来場の際にはお立ち寄りいただければ幸いです。

① アグリビジネス創出フェア (東京、11月18日~20日)

<http://www.agribiz-fair.jp/detail.php?id=1943>

② BMB2015 NBRP パネル展示 (神戸、12月1日~3日)

<http://www.aeplan.co.jp/bmb2015/files/NBRP.pdf>

---● テクニカルサポート (No. 18) : シロイヌナズナ野生株を使った品種間差の研究を加速する研究環境整備について ●-----

以前のメールニュースでシロイヌナズナ野生株のご紹介をさせていただきました (<http://epd.brc.riken.jp/ja/wp-content/uploads/mailnews/20141128.pdf>)。今回は、このシロイヌナズナ野生株関連リソースを活用した研究戦略をご紹介させていただきます。

品種間差を利用した研究を行う場合、最低でも二つの品種を選抜する必要があります。

そのためには着目する表現型の解析を行わなければなりません。当室では約 400 系統の野生系統を維持管理しておりますが、これらの中から自分の興味がある表現型を示す系統を見出すこと、つまり、系統ごとに表現型を評価して選び出すということは多大な労働力が必要です。そこで当室では、この作業を少しでも省力化するために、野生株種子を混合した 1 セット 8 本からなるプール種子セットをご用意しております。プール種子には 1 本あたり 50 系統由来の種子を均等に混ぜた 400 粒の種子が入っています。そこでこのプール種子を使えば目指す表現型を示す系統の選抜作業を省力化ができます。しかしその代わり選抜された個体の系統名を特定する必要が生じるため、当室では選抜個体のゲノム DNA を使って野生系統名を同定する遺伝型解析サービスをご用意しています (<http://epd.brc.riken.jp/ja/wp-content/uploads/mailnews/20150730.pdf>)。

更にこのようにして選抜した野生系統と標準株である Columbia 株 (Col) あるいは Lansberg erecta 株 (Ler) との間で品種間差が存在する場合には、原因遺伝子を迅速にマッピングするためのリソースとして野生系統と標準株を交配して得られた F2 世代種子の準備を進めております。現在は、野生系統 50 種類について両標準株との交雑 F2 種子について SSR マーカーによる交雑の確認が終了し公開準備を進めております。準備が整い次第、ホームページ等でお知らせ致しますが、個別にご案内を希望される場合にはメールにてご連絡ください。

なお、スクリーニング用のプール種子セットは、シロイヌナズナ野生株の他に各種タグラインもお選びいただけます。研究目的にあわせてご活用ください。
(<http://epd.brc.riken.jp/ja/wp-content/uploads/mailnews/20150119.pdf>)

当室では、皆様のご研究に役立てていただけるような研究材料やサービスを提供していきたいと考えております。皆様からご意見をいただけたら幸いです。

●-----●
-----● 利用者の皆様へ ●-----

理研BRCのリソース事業は皆様のご協力により支えられております。ご意見、ご要望がありましたらぜひ下記までお知らせいただければ幸いです。リソース寄託のご相談もお待ちしております。

●-----●

❀*:・'° ❀°'・*:。❀.:*:・'° ❀。.:*:。.:*❀

理化学研究所バイオリソースセンター

実験植物開発室 提供係

〒305-0074 茨城県つくば市高野台3-1-1

TEL 029-836-9067/FAX 029-836-9053

MAIL plant@brc.riken.jp

HP <http://epd.brc.riken.jp/>

❀*:・'° ❀°'・*:。❀.:*:・'° ❀。.:*:。.:*❀